

第一表

(平成二十八年分以降用)

復興特別所得税額の記入をお忘れなく。

納管

事業

居民

資產

総合

分離

| | |
|-----|--|
| 検 算 | |
|-----|--|

通信
日付印

年月日

連号
一番

| | | | | | | |
|---|--------------|---------------------------------|------------------------------------|---|-----------------|-------------|
| 住所 (又事業所 事務所など) 5 6 3 - 0 0 3 2 大阪府池田市石橋 2 - 1 3 - 2 8 (1 0 7) | | 個人番号 4 1 8 4 9 5 9 3 0 7 7 1 | | | | |
| | | フリガナ カ シ ` タ シ ュ ウ コ ` | | | | |
| | | 氏 名 梶 田 宗 吾 | | | | |
| 性別 男 女 | | 職業 | 屋 号 ・ 雅 号 | 世帯主の氏名 梶 田 宗 吾 | 世帯主との続柄 本人 | |
| 平成 29 年 1 月 1 日 住 上 | | 生年 月 日 4 0 4 0 3 1 5 | 電話 番号 0 8 0 - 6 1 6 6 - 4 3 1 5 | 自 宅 ・ 勤 務 先 ・ 携 帯 電 話 番 号 0 8 0 - 6 1 6 6 - 4 3 1 5 | | |
| (受 付 印) (単 位 は 円) | | 種 類 | 特 農 業 表 示 | 整 理 番 号 | 翌 年 以 降 送 付 不 要 | |
| 収入金額等 | 事業等 | ア | | 課税される所得金額 (9 - 25) 又は 第 三 表 | 26 | 2 8 8 0 0 0 |
| | 農業 | イ | | 上の 26 に対する税額 又は 第 三 表 の 26 | 27 | 1 4 4 0 0 |
| | 不動産 | ウ | | 配 当 控 除 | 28 | |
| | 利子 | エ | | 区 分 | 29 | |
| | 配当 | オ | | (特 定 増 改 築 等) 住宅借入金等特別控除 | 30 | |
| | 給与 | カ | 1 3 4 4 9 5 0 | 政党等寄附金等特別控除 | 31 - 33 | |
| | 雑 | キ | | 住宅耐震改修特別控除 住宅特定改修・認定住宅 新築等特別税額控除 | 34 - 37 | |
| | 総合譲渡 | ク | | 差 引 所 得 税 額 (27 - 28 - 29 - 30 - 31 - 32 - 33) | 38 | 1 4 4 0 0 |
| 所得金額 | 短期 | ケ | | 災 害 減 免 額 | 39 | |
| | 長期 | コ | | 再 差 引 所 得 税 額 (基 準 所 得 税 額) (39 - 39) | 40 | 1 4 4 0 0 |
| | 一時 | サ | | 復 興 特 別 所 得 税 額 (40 × 2.1%) | 41 | 3 0 2 |
| | | | | 所得税及び復興特別所得税の額 (40 + 41) | 42 | 1 4 7 0 2 |
| | | | | 外国税額控除 | 43 | |
| | | | | 所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額 | 44 | 1 4 5 0 0 |
| | | | | 所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額 (42 - 43 - 44) | 45 | 2 0 0 |
| | | | | 所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額 (第 1 期 分 ・ 第 2 期 分) | 46 | |
| 所得から差し引かれる金額 | 雑損控除 | | | 所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額 (第 3 期 分 の 税 額) (45 - 46) | 47 | 2 0 0 |
| | 医療費控除 | | | 納める税金 | 48 | |
| | 社会保険料控除 | | 0 | 還付される税金 | | |
| | 小規模企業共済等掛金控除 | | | 配偶者の合計所得金額 | 49 | |
| | 生命保険料控除 | | 2 6 8 7 7 | 専従者給与(控除)額の合計額 | 50 | |
| | 地震保険料控除 | | | 青色申告特別控除額 | 51 | |
| | 寄附金控除 | | | 雑所得・一時所得等の所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額の合計額 | 52 | |
| | 寡婦・寡夫控除 | | 0 0 0 0 | 未納付の所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額 | 53 | |
| 勤労学生・障害者控除 | | 0 0 0 0 | 本年分で差し引く繰越損失額 | 54 | | |
| 配偶者(特別)控除 | 区 分 | 21 - 22 | 平均課税対象金額 | 55 | | |
| 扶養控除 | 23 | 0 0 0 0 | 変動・臨時所得金額 | 56 | | |
| 基礎控除 | 24 | 3 8 0 0 0 0 | 延 届 納 出 | 申告期限までに納付する金額 | 57 | 0 0 |
| 合計 | 25 | 4 0 6 8 7 7 | 延 届 納 出 | 延 納 届 出 額 | 58 | 0 0 0 |
| 税 理 士 印 押 印 | | 銀行 金庫・組合 農協 漁協 | | 本店・支店 出張所 本所・支所 | | |
| 税 理 士 法 第 30 条 の 書 面 提 出 有 | | 郵便局 名 等 | | 預 金 普 通 当 座 納 税 準 備 貯 蓄 | | |
| 税 理 士 法 第 33 条 の 2 の 書 面 提 出 有 | | 口座番号 | | 名 簿 | | |
| | | 記号番号 | | 確 認 | | |
| 整 理 欄 | | 区 分 | | 1 | | |
| | | 異 動 | | 4 | | |
| | | 管 理 | | | | |
| | | 補 完 | | | | |

平成 28 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書

添付書類台紙

| | | | |
|---------------------------|-------------------------------------|--------------|-------------------|
| 住 所 (又 は 事 業 所 居 所 など) | 大阪府池田市石橋 2 - 1 3 - 2 8 (1 0 7) | フリ ガナ 氏 名 | カジタ シュウゴ 梶田 宗吾 |
|---------------------------|-------------------------------------|--------------|-------------------|

の り し る

源泉徴収票（原本）

の り し る

本人確認書類（写）

マイナンバーカード（個人番号カード）をお持ちの方

マイナンバーカードの表面及び裏面の 写し を貼ってください。

マイナンバーカードをお持ちでない方

「 番号確認書類 」の 写し と 「 身元確認書類 」の 写し をそれぞれ貼ってください。
原本を貼ることのないよう、ご注意ください。

番 号 確 認 書 類

《ご本人のマイナンバーを確認できる書類の 写し 》

- ・通知カード
- ・住民票の写し又は住民票記載事項証明書
(マイナンバーの記載があるものに限ります。)

などのうちいずれか 1 つ



身 元 確 認 書 類

《記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類の 写し 》

- ・運転免許証
- ・パスポート
- ・在留カード
- ・公的医療保険の被保険者証
- ・身体障害者手帳

などのうちいずれか 1 つ

申告に当たっては、上記 及び社会保険料控除、小規模企業共済等掛金控除、生命保険料控除、地震保険料控除、寄附金控除関係書類（該当するものに限ります。）などを、この台紙にのりづけし申告書と一緒に提出するか、申告書を提出する際に提示してください（源泉徴収票は提出が必要です。）。

上記 以外の書類は、この台紙の裏面や適宜の用紙に貼ってください。

医療費の領収書等は、この台紙に貼らずに、医療費の明細書（封筒）や適宜の封筒に入れて提出してください。

平成 28 年分の 所得 税 及 び 復興特別所得税 の確定申告書 B

| | | |
|----|----|----------------------|
| 住 | 所 | 大阪府池田市石橋 2 - 1 3 - 2 |
| 屋 | 号 | 8 (1 0 7) |
| フリ | カナ | カジタ シュウゴ |
| 氏 | 名 | 梶田 宗吾 |

○ 所得の内訳（所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額）

| 所得の種類 | 種 目 ・ 所 得 の 生 る 場 所 又 は 給 与 な ど の 支 払 者 の 氏 名 ・ 名 称 | 収 入 金 額 | 所 得 税 及 び 復 興 特 別 所 得 税 の 源 泉 徴 収 税 額 |
|--|--|----------------|--|
| 給与 | 国立大学法人大阪大学 大阪府吹田市山田丘 1 - 1 | 円 1,244,950 | 円 10,900 |
| 給与 | 株式会社ジーティス 大阪府大阪市北区梅田 1 丁目 1 1 番 4 - 1 0 0 0 号 | 100,000 | 3,600 |
| | | | |
| | | | |
| ④ 所 得 税 及 び 復 興 特 別 所 得 税 の 源 泉 徴 収 税 額 | | | 円 14,500 |

○雑所得(公的年金等以外)、総合課税の配当所得・譲渡所得、一時所得に関する事項

| 所得の種類 | 種 目 ・ 所 得 の 生 ず る 場 所 | 収 入 金 額 | 必 要 経 費 等 | 差 引 金 額 |
|-------|--------------------------|---------|-----------|---------|
| | | 円 | 円 | 円 |
| | | | | |
| | | | | |

○ 特例適用条文等

○ 事業専従者に関する事項

| 事業従者の氏名 | 個人番号 | 続柄 | 生年月日 | 従事月数・程度・仕事の内容 | 専従者給与(控除)額 |
|---------|------|----|------------------------------------|---------------|------------|
| | | | 明・大 昭・平 ・ ・ | | |
| | | | 明・大 昭・平 ・ ・ | | |

○ 住民税・事業税に関する事項

| | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----------------------|---------|-------------------------|---------------------|--|-----------------|----------------|---|---|
| 住民税 | 16歳未満の扶養親族 | 扶養親族の氏名 | 個 人 番 号 | 続柄 | 生 年 月 日 | 別 居 の 場 合 の 住 所 | 寄 附 金 税 額 控 除 | | |
| | | | | | 平 . . | | 都道府県、市区町村分 | | |
| | | | | | 平 . . | | 住所地の共同募金会、日赤支部 | | |
| | | | | | 平 . . | | 都道府県 | | |
| | | | | | 平 . . | | 市区町村 | | |
| | 配当に関する住民税の特例 | | 非 居 住 者 の 特 例 | | 給与・公的年金等に係る所得以外(平成29年4月1日において65歳未満の方は給与と所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択 | | 給与とから差引き | | |
| | 配 当 割 額 控 除 額 | | 株 式 等 譲 渡 所 得 割 額 控 除 額 | | | | 自 分 で 納 付 | | |
| 事業税 | 非 課 税 所 得 な ど | | 番 号 | 所得金額 | 損益通算の特例適用前の不 動 産 所 得 | 前年中の開(廃)業 | 開始・廃止 | 月 | 日 |
| | 不動産所得から差し引いた青色申告特別控除額 | | | | 事業用資産の譲渡損失など | 他都道府県の事務所等 | | | |
| 別居の控除対象配偶者・控除対象扶養親族・事業専従者の氏名・住所 | | 氏名 | 住所 | 所得税で控除対象配偶者などとした専従者 | 氏名 | 給与 | 連番番号 | | |

○ 所得から差し引かれる金額に関する事項

| | | | | | | | |
|-----------------|--|----------------------|--|---------------------|--|-----------------|--|
| ⑩ 雑損控除 | | 損害の原因 | | 損害年月日 | | 損害を受けた資産の種類など | |
| 損害金額 | | 円 保険金などで補填される金額 | | 円 差引損失額のうち災害関連支出の金額 | | 円 | |
| ⑪ 医療費控除 | | 支払医療費 | | 円 保険金などで補填される金額 | | 円 | |
| ⑫ 社会保険料控除 | | 社会保険の種類 源泉徴収票のとおり | | 支払保険料 円 0 | | ⑬ 掛金の種類 支払掛金 | |
| | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 合計 | | 0 | | 合計 | | | |
| ⑭ 生命保険料控除 | | 新生命保険料の計 | | 33,753 円 | | 旧生命保険料の計 | |
| | | 新個人年金保険料の計 | | | | 円 | |
| | | 介護医療保険料の計 | | | | | |
| ⑮ 地震保険料控除 | | 地震保険料の計 | | 円 | | 旧長期損害保険料の計 | |
| | | | | | | 円 | |
| ⑯ 寄附金控除 | | 寄附先の所在地・名称 | | 円 | | 寄附金 | |
| | | | | | | 円 | |
| ⑰ 寡婦(寡夫)控除 | | □ 死別 □ 生死不明 | | □ 勤労学生控除 | | □ 配偶者控除 | |
| ⑱ 離婚 □ 離婚 □ 未帰還 | | | | □ 学校名 | | □ 配偶者特別控除 | |
| ⑲ 氏名 | | | | | | | |
| ⑳ 配偶者の氏名 | | 生年月日 | | | | | |
| | | 明・大昭・平 | | | | | |
| 個人番号 | | | | | | | |
| ㉓ 扶養控除 | | 控除対象扶養親族の氏名 | | 続柄 | | 生年月日 | |
| | | | | | | 明・大昭・平 | |
| 個人番号 | | | | | | 万円 | |
| | | | | 明・大昭・平 | | 万円 | |
| 個人番号 | | | | | | 万円 | |
| | | | | 明・大昭・平 | | 万円 | |
| 個人番号 | | | | | | 万円 | |
| ㉔ 扶養控除額の合計 | | | | | | 万円 | |

第二表（平成二十八年分以降用）○第二表は、第一表と一緒に提出してください。

○源泉徴収票 国民年金保険料や生活保護料の支払証明書など申書書に添付しなければならない書類は添付書類台紙などに貼ってください

平成 28 年分の 所得 税 及 び 復興 特別 所得 税 の 確 定 申 告 書 B

| | |
|---|---|
| 住所 (又は事業所 事務所など) 〒563-0032 大阪府池田市石橋2-13-2 8(107) | 個人番号 個人番号は印字されません フリガナカシタ シュウコ 氏名梶田 宗吾 性別職業屋号・雅号世帯主の氏名世帯主との続柄 男 女 本人 生年月日4 0 4 . 0 3 . 1 5 電話番号自 宅・勤務先・携帯 080-6166-4315 |
| 平成29年1月1日現在 同上 | 国税庁HP(2017.02:27;18:47:42.72) (単位は円) |
| 収入金額等 | 税 金 の 計 算 |
| 事業等 業 農 業 不動産 利 子 配 当 給 与 公的年金等 雑 その他 総合譲渡 短期 長期 一時 | 課税される所得金額 (9)-(25)又は第三表 上の(26)に対する税額 又は第三表の(26) 配 当 控 除 (特定増改築等) 住宅借入金等特別控除 政党等寄附金等特別控除 住宅耐震改修特別控除 住宅特定改修・認定住宅 新築等特別税額控除 差引所得税額 (26)-(27)-(28)-(29)-(30)-(31)-(32)-(33)-(34)-(35)-(36)-(37) 災 害 減 免 額 再差引所得税額 (基準所得税額) (38)-(39) 復興特別所得税額 (40×2.1%) 所得税及び復興特別所得税の額 (40)+(41) 外国税額控除 所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額 所得税及び復興特別 所得税の申告納税額 (42)-(43)-(44) 所得税及び復興特別 所得税の予定納税額 (第1期分・第2期分) 所得税及び復興特別 所得税の納める税金 第3期分の税額 (45)-(46) 還付される税金 |
| 所得金額 | その他の |
| 事業等 業 農 業 不動産 利 子 配 当 給 与 雑 総合譲渡・一時 (7)+{(3)+(4)}×1/2 合計 | 配偶者の合計所得金額 専従者給与(控除)額の合計額 青色申告特別控除額 雑所得一時所得等の所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額の合計額 未納付の所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額 本年分で差し引く繰越損失額 平均課税対象金額 変動・臨時所得金額 延 届 納 の 出 申告期限までに納付する金額 延 納 届 出 額 還 受 付 取 税 金 の 所 銀行・金庫・組合 農協・漁協 本店・支店 出張所 本所・支所 郵便局名等 預金種類 口座番号 記号番号 |
| 所得から差し引かれる金額 | 雑損控除 医療費控除 社会保険料控除 小規模企業共済等掛金控除 生命保険料控除 地震保険料控除 寄附金控除 寡婦・寡夫控除 勤労学生・障害者控除 配偶者(特別)控除 扶養控除 基礎控除 合計 |

第一表

この用紙は控用です。

復興特別所得税額の記入をお忘れなく。

税 理 士
署 名 押 印
電 話 番 号

税理士法第30条
の書面提出有
税理士法第33条
の2の書面提出有

収受事実を確認されたい方は、収受日付印を押なつしますので、
申告書提出時に請求してください(内容を証明するものではありません。)

所得金額の証明が必要な方は、納税証明書をご利用ください。
この申告書を提出される方は、住民税・事業税の申告書を提出
する必要がありません。

平成28年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

整理番号

住所

大阪府池田市石橋2-13-2

8(107)

フリガナ

カジタ シュウゴ

氏名

梶田 宗吾

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

| 所得の種類 | 種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称 | 収入金額 | 所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額 |
|------------------------|--------------------------------------|-----------|---------------------|
| 給与 | 国立大学法人大阪大学 大阪府吹田市山田丘1-1 | 1,244,950 | 10,900 |
| 給与 | 株式会社ジーティス 大阪府大阪市北区梅田1丁目11番4-1000号 | 100,000 | 3,600 |
| | | | |
| | | | |
| 所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額の合計 | | | 14,500 |

雑所得(公的年金等以外)、総合課税の配当所得・譲渡所得、一時所得に関する事項

| 所得の種類 | 種目・所得の生ずる場所 | 収入金額 | 必要経費等 | 差引金額 |
|-------|-------------|------|-------|------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

特例適用条文等

事業専従者に関する事項

| 事業専従者の氏名 | 個人番号 | 続柄 | 生年月日 | 従事月数・程度・仕事の内容 | 専従者給与(控除)額 |
|----------|------|----|--------|---------------|------------|
| | | | 明・大昭・平 | | |
| | | | 明・大昭・平 | | |

住民税・事業税に関する事項

住民税

扶養親族の氏名

個人番号

続柄

生年月日

別居の場合の住所

寄附金税額控除

16歳未満の扶養親族

平

都道府県、市区町村分

平

住所地の共同募金会、日赤支部分

平

条例指定分

都道府県

市区町村

配当に関する住民税の特例

非居住者の特例

給与・公的年金等に係る所得以外(平成29年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択

給与から差引き

配当割額控除額

株式等譲渡所得割額控除額

自分で納付

事業税

非課税所得など

番号

所得金額

円

損益通算の特例適用前の不動産所得

円

前年中の開(廃)業

開始・廃止

月

日

不動産所得から差し引いた青色申告特別控除額

事業用資産の譲渡損失など

他都道府県の事務所等

別居の控除対象配偶者・控除対象扶養親族・事業専従者の氏名・住所

氏名

住所

所得税で控除対象配偶者などとした専従者の氏名

給与

円

所得から差し引かれる金額に関する事項

⑩ 雑損控除

損害の原因

損害年月日

損害を受けた資産の種類など

損害金額

円

保険金などで補填される金額

円

差引損失のうち災害関連支出の金額

円

⑪ 医療費控除

支払医療費

円

保険金などで補填される金額

円

⑫ 社会保険料控除

社会保険の種類

源泉徴収票のとり

支払保険料

円

⑬ 小等規模企業共済等掛金控除

掛金の種類

支払掛金

円

⑭ 生命保険料控除

新生命保険料の計

33,753

円

旧生命保険料の計

円

新個人年金保険料の計

旧個人年金保険料の計

介護医療保険料の計

⑮ 地震保険料控除

地震保険料の計

円

旧長期損害保険料の計

円

⑯ 寄附金控除

寄附先の所在地・名称

寄附金

円

⑰ 本控除事項

☐ 寡婦(寡夫)控除

☐ 死別

☐ 生死不明

☐ 離婚

☐ 未帰還

☐ 勤労学生控除

学校名

⑱ 氏名

⑲ 配偶者の氏名

生年月日

☐ 配偶者控除

☐ 配偶者特別控除

明・大昭・平

個人番号

⑳ 扶養控除

控除対象扶養親族の氏名

続柄

生年月日

控除額

明・大昭・平

万円

個人番号

明・大昭・平

万円

個人番号

明・大昭・平

万円

個人番号

㉑ 扶養控除額の合計

万円

第二表 ○この用紙は控用です。

確定申告書等作成コーナーを利用された方につきましては、翌年の申告書の送付を行わないこととさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

提出書類等のチェックシート

(このチェックシートを提出する必要はありません。)

確定申告書等作成コーナーのご利用ありがとうございました。
この提出書類等チェックシートは、確定申告書等作成コーナーで作成した申告書等や別途税務署に提出していただく書類等をご確認いただくものです。
記載内容をご確認の上、出力した申告書とともに添付書類を住所地等を所轄する税務署へ提出してください。

【提出書類等のご案内】 作成した申告書等の内容から申告書に添付又は提示する必要があると思われる書類は、次のとおりです。

| 関係項目等 | 作成 有無 | 提出（添付又は提示すべき）書類等 |
|------------|----------|--|
| 確定申告書 | | 申告書B第一表（提出用） |
| 確定申告書 | | 申告書B第二表（提出用） |
| 確定申告書 | | 本人確認書類の写し（左下のご案内をお読みください。） |
| 給与所得 | | 給与所得の源泉徴収票（原本） |
| 生命保険料控除（注） | | 一般の保険料支払額などの証明書（旧生命保険料に係る証明書で1契約9千円以下の場合には不要。） |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

- <留意事項等>
- 「作成有無」欄に「」の表示があるものは、確定申告書等作成コーナーで作成した書類です。
 - 「関係項目等」欄に（注）の表示ある書類については、給与所得のある方が年末調整の際に適用を受けている場合、提出不要です。
 - 源泉徴収票や控除証明書等については、申告書等と併せて出力した「添付書類台紙」（出力していない場合は適宜の用紙）に貼ってください。
 - 「財産債務調書」等は、財産債務調書の提出が必要な方に「該当する場合」を選択した場合に表示されます。
 - 「作成有無」欄に「」の表示がない場合は、別途作成して提出してください。なお、様式は国税庁ホームページに掲載しています。
 - 複数の欄に同一書類名が表示されることがありますが、税務署への提出は1部（1通）で結構です。
 - 入力内容によっては、添付又は提示する必要がある書類が、正しく表示できない場合があります。ご不明な点がございましたら、国税庁ホームページをご確認いただくか、税務署へお尋ねください。

【提出方法及び納付方法等のご案内】

提出方法

申告書等は、郵便又は信書便による送付（送料は各人の負担になります。）のほか、所轄の税務署への持参、時間外収受箱への投函による提出も受け付けています。
郵送等により提出する方で、申告書の控えに収受日付印が必要な方は、申告書の控えのほか返信用封筒（宛名をご記入の上、所要額の切手を貼ってください。）を同封していただければ、収受日付印を押印し、返送いたします。

納付方法

平成28年分の所得税及び復興特別所得税の申告と納税は、平成29年3月15日（水）までです。納期限までにお近くの金融機関又は所轄の税務署の納税窓口で納付してください（確定申告書の提出後に、納付書の送付や納税通知等によるお知らせはありませんので、ご注意ください。）。
また、預貯金残高を確認しておくだけで、金融機関又は所轄の税務署に外向かなくても自動的に納付できる大変便利な振替納税もご利用いただけます（期限内に申告をされた方に限ります。）。
詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

本人確認書類について

マイナンバーを記載した申告書等を提出する際は、本人確認書類の提示又は写しの添付が必要になります。
<本人確認書類の例>
例1：マイナンバーカードのみ
例2：通知カード+運転免許証や公的医療保険の被保険者証 など
詳しくは、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp/mynumberinfo/index.htm>）をご覧ください。

【提出先税務署のご案内】

「提出先税務署」の所在地等を印刷していますので、郵送等により書類を提出する場合には、点線部分で切り離し、封筒に貼るなどしてご利用ください。

〒563-8688

池田市城南2丁目1番8号

豊能税務署 行